



2023年10月31日

各位

会社名 株式会社 J - M A X
 代表者名 代表取締役 齊藤 浩
 社長執行役員
 (コード番号 3422 東証スタンダード・名証メイン)
 問合せ先 取締役上席執行役員 松井 恒夫
 企画本部長
 (TEL 0584-48-2832)

2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正並びに構造改革に関するお知らせ

当社は、2023年7月31日に開示いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日開示の実績値との間に差異が生じました。また、2023年10月31日の取締役会にて、当社の連結子会社であるタイ・マルジュン社及び広州丸順自動車配件有限公司(以下「広州丸順社」という。)における構造改革の推進を決議し、当該費用を特別損失に計上する見込みとなったことを含め、最近の業績動向を踏まえ2024年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,000	百万円 170	百万円 △10	百万円 △150	円 銭 △12.96
実績(B)	25,653	107	△70	△15	△1.32
増減額(B-A)	1,653	△62	△60	134	
増減率(%)	6.9	△36.8	-	-	
(参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	23,119	828	809	274	23.39

(2) 差異の理由

売上高については、原材料価格高騰等の影響及び日本において主要客先の生産が想定以上に回復したことにより業績予想を上回る結果となりました。また、営業利益及び経常利益については、中国における生産減少等の影響により、業績予想を下回る結果となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益については、タイの土地売却益を計上したこと等により、業績予想を上回る結果となりました。

2. 2024年3月期通期業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 44,000 ～53,000	百万円 210 ～2,300	百万円 △320 ～1,900	百万円 △730 ～1,100	円 銭 △63.09 ～95.07
今回修正予想(B)	53,000	500	200	△1,400	△121.66
増減額(B-A)	0 ～9,000	△1,800 ～290	△1,700 ～520	△2,500 ～△670	
増減率(%)	0 ～20.5	△78.3 ～138.1	- ～△89.5	-	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	52,356	2,811	2,712	1,298	110.66

(2) 修正の理由

今回、2024年3月期第2四半期連結累計期間の実績及び現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2024年3月期通期の業績予想をレンジ形式から特定予測値へ変更いたしました。売上高については、日本における生産回復が堅調に推移する想定であり、当初予想値のレンジ内となる見込みであります。利益面については、タイ、中国における生産減少影響が大きく、当初予想値の下限值に近い数値となる見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益については下記に記載する構造改革費用を特別損失に計上することによりレンジ下限値を下回る見込みであります。

2. 特別損失の計上見込みについて

当社の連結子会社であるタイ・マルジュン社においては、タイ国内の昨今の自動車市場の低迷により、主要客先の生産が減少しております。また、広州丸順社においても、中国における新たな電気自動車メーカーの台頭等に伴い、主要客先の生産が大幅に減少しており、タイ・マルジュン社、広州丸順社ともに収益性が大きく悪化しております。当該影響は下期以降においても継続することが想定され、両社を取り巻く経営環境はこれまで以上に厳しい状況にあります。両社とも、継続的な原価低減活動に努めておりますが、売上高減少に伴う固定費負担増加による採算性悪化の影響が大きく、このような厳しい経営環境の変化に対応し、客先の急激な生産変動にも耐えうる強い収益構造を確立するため、固定費の抜本的な削減による企業体質の強化を目的とした構造改革を推進いたします。

構造改革では、客先の生産台数が減少する状況においても収益を創出できるよう、徹底的に無駄を省いた高効率な生産体制の構築を推進いたします。タイ・マルジュン社においては、生産ラインの集約や内外作の最適化等生産体制の見直しにより効率的な人員体制を確立いたします。広州丸順社においては、希望退職者の募集に加え、客先の生産数に対応した生産設備の最適化を実施いたします。これら構造改革の完遂により早期に強固な経営体質を構築し、中長期的な成長戦略による収益拡大につなげてまいります。なお、構造改革の推進に伴う関連費用については詳細を精査中であり、現時点においては未確定であります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上